

令和5年度

「運営に関する計画」

大阪市立東陽中学校



現状と課題

「全国学力・学習状況調査」の結果より (令和4年度)

○結果の概要

令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果においては、国語は全国比より6.0P低く、数学は4.4P、理科は5.3Pそれぞれ低かった。また、平均無解答率では、全国平均より国語・数学、それぞれ1.7P、2.1P、2.0P高い結果であった。

○分析から見てきた課題

学習に関しては家庭学習に取り組む生徒と取り組まない生徒との差がある。令和4年度の「全国学力・学習状況調査」では、「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合が5.5Pあり、放課後学習会等で個別の自主学習への支援が必要である。また、授業者側の項目では「めあて・ねらい」の提示や話し合い等、授業内容やICT機器の活用による授業の工夫も進めており、「全国学力・学習状況調査」の結果では、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」は、64.6Pで、年度末の校内アンケート調査では、同内容の質問について84.6Pと向上させることができた。

○今後の取組

学校全体は、近年落ち着いた環境で教育活動が行われている。各教科で履修する内容を様々な学習方法や内容に関して、生徒にとって魅力ある授業づくりが行われている。

今後、学習に関しては予習復習を行う生徒の個人差が大きいことから、学習習慣定着のための支援が必要である。ICT等の更なる活用により生徒の興味関心を高め、一人ひとりの生徒へのきめ細かい指導や、入り込み等による習熟度別学習の充実が必要である。生徒が「主体的・対話的で深い学び」ができるように授業を進めていく。

学校元気アップ事業による放課後学習会の開催や、英語検定・漢字検定等の継続、学習に対する意欲の向上を図る取組みを進めていく。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

○結果の概要

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、50m走、20mシャトルランの平均記録が令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果よりすべての種目で向上させることはできなかったが、引き続き記録の向上ができるよう取り組んでいく。

【男子】	(R3)	(R4)	【女子】	(R3)	(R4)
50m 走	7.8	⇒7.88	50m 走	8.9	⇒8.87
20M シャトルラン	72.85	⇒66.39	20M シャトルラン	44.85	⇒51.00

・令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における各学年の合計得点は、全国比男子5.04P、女子2.8P低かった。年間を通してさまざまな種目を取り入れ、基礎体力の定着だけでなく、運動やスポーツに対する関心や前向きに取り組む姿勢等を身につけながら、体力の向上に取り組んだ。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度のアンケート調査において「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」と答える生徒の割合を70%以上に向上させる。
- 令和7年度のアンケート調査において「防災・減災・安全に関する教育を実施し、安全確保や事故防止に努めている」の項目について「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」と答える保護者の割合を90%以上にさせる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合を、全国平均比より減少させる。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各学年の合計得点を、全国平均比より向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度のアンケート調査において、「学習者用端末等のICT機器を授業で活用しましたか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を75%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、76.5%以上にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日、年間で5日以上設定する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標(中学校)

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度（84.3%）以上に向上させる。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度（11.98%）より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合（25.8%）を増加させる。

学校の年度目標

- ・年度末の校内調査において「学校での毎日の生活が楽しい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度調査（88.7%）より向上させる。
- ・年度末の校内調査における「学校でのルールやマナーを守るよう心がけている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を96%以上とする。
- ・令和5年度の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査（文科省）の暴力行為の発生件数の割合を0.4%以下とする。
- ・年度末の校内調査において「学校は、防災・減災・安全に関する教育を行っている。」の項目について、保護者の肯定的な回答の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標(中学校)

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度（46％）より向上させる。
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度（R4 中 2 国 1.01、数 0.91）（R4 中 1 国 1.0、数 1.01）より向上させる。
- ・大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル（英検 3 級）相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を前年度（55.4％）より向上させる。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を前年度（53.8％）以上にする。

学校の年度目標

- ・年度末の校内調査において「授業がよくわかる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度調査（87.3％）より向上させる。
- ・年度末の校内調査において「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合を、昨年度（12.3％）より減少させる。
- ・令和 5 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査（文科省）における各学年の体力合計点を前年度（男子 36.0P、女子 44.6P）より向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（中学校）

- ・年度末の校内調査において「学習者用端末等の ICT 機器を授業で活用しましたか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 75％以上にする。
- ・学校閉庁日については、夏季休業期間においては 3 日、年間で 5 日以上設定する。

学校の年度目標

- ・ゆとりの日については、月 1 回以上設定する。
- ・東成区役所の電子書籍を活用した読書活動推進事業（電子書籍 e-library）を朝の読書及び長期休業中に活用する。令和 5 年度の校内調査において「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度（74.2％）より増加させる。

大阪市立東陽中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度(84.3P)以上に向上させる。 ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において「学校での毎日の生活が楽しい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度調査(88.7P)より向上させる。 ・年度末の校内調査における「学校でのルールやマナーを守るよう心がけている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 96%以上とする。 ・令和 5 年度の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査(文科省)の暴力行為の発生件数の割合を 0.4%以下とする。 ・年度末の校内調査において「学校は、防災・減災・安全に関する教育を行っている。」の項目について、保護者の肯定的な回答の割合を 90%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめ・差別を許さない学校づくりを推進し、いじめアンケート調査等・生徒教育相談を定期的実施し、生徒理解を深め、学習環境を整える。(生活指導部)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>いじめアンケート年 3 回実施、生徒教育相談アンケート年 2 回実施。今年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合 100%を目指し、生徒の教育環境を整える。</p>	
<p>取組内容②【1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>こども相談センター、警察機関、区役所(子育て支援室)やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの連携や相談し、生徒の安全・安心な学習環境の構築に取り組む。(生活指導部)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>東成区学警連絡会等で生徒の情報交換を行い、指導の方向性を確認することで、校内での暴力行為件数のゼロ件を継続する。</p>	
<p>取組内容③【1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>年間指導計画にそって、防災・減災に関する授業(講話、説明、地域防災訓練への参加)。「警備及び防災の計画」「学校安全管理マニュアル」等に基づき、災害時に備えた訓練</p>	

を実施する。	(健康教育部)	
指標 火災想定避難訓練(年1回)地震想定避難訓練(年1回)救急救命法(AEDを含む)の講話(年1回)を実施する。ふれあい地域防災交流会を実施する。		
取組内容②【2、豊かな心の育成】 校内のインクルーシブ教育の充実を図るため、支援体制を確立する。	(特別支援担当)	
指標 障がいのある生徒一人一人に「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、その計画に基づいて効果的な指導や適切な支援を行う。		
取組内容②【2、豊かな心の育成】 人権学習の年間計画を立て計画的実践し、人権に関する芸術鑑賞実施し、人権学習に取り組んでいく。	(人権教育委員会)	
指標 芸術鑑賞前後に人権学習を実施する。		
取組内容③【2、豊かな心の育成】 社会体験活動(職業講話、ボランティア活動等)実施し、自分の将来を考えるよう指導する。また、進路選択への情報提供をきめ細かく行う。	(各学年)	
指標 社会体験活動(職業講話、ボランティア活動等)を実施し、また、高校体験等に積極的に参加させ、自分の将来の夢や目標を持てるよう指導する。		
取組内容③【1、安全・安心な教育環境の実現】 部活動体験や小中教職員の授業交流や清掃交流を実施する。	(生活指導部、教務部)	
指標 事業後アンケート等での検証。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

大阪市立東陽中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度(46%)より向上させる。 ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度(R4 中2国 1.01、数 0.91)(R4 中1国 1.0、数 1.01)より向上させる。 ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を前年度(55.4%)より向上させる。 ・年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を前年度(53.8%)以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において「授業がよくわかる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度調査(87.3%)より向上させる。 ・年度末の校内調査において「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合を、昨年度(12.3%)より減少させる。 ・令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査(文科省)における各学年の体力合計点を前年度(男子 36.0P、女子 44.6P)より向上させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「自主学習習慣の確立」をめざし、放課後や長期休業中などの生徒自主学習時間を設定し、生徒の自主学習を支援する。(各学年)</p> <hr/> <p>指標 定期テスト前学年別放課後学習会。教員・学校元気アップ支援員等による学習サポート。年間各学年15回以上実施する。</p> <p>令和4年度の生徒アンケートで「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合を、昨年度より減少させる。</p>	
<p>取組内容②【4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>小中連携による英語教育の推進。それぞれの学年の英語力の向上をめざす。また、英検IBAを1、2年生全員受検させる。(1年生はテストD、2年生はテストC)(英語科)</p> <hr/> <p>指標 英検IBAを受検し、1年生は5級以上、2年生は4級以上の英語力を有する</p>	

<p>生徒の割合を1年生は5級以上 90%以上、2年生は4級以上の割合を前年度以上に する。3年生は、大阪市英語力調査におけるC E F R 1 レベル相当以上の英語力を 有する中学3年生の割合（4技能）を前年度（55.4%）より向上させる。</p>	
<p>取組内容②【4、誰一人取り残さない学力の向上】 全ての学習の基盤となる言語能力等の育成を重視し、主体的・対話的で深い学びの 視点から、学習・指導方法の普段の改善を図るための実践研究を行う。その中で、 すべての授業において「本時(単元)の目標(めあて)」「本時(単元)のまとめ」をわか りやすく提示する</p> <p style="text-align: right;">（各教科）</p>	
<p>指標 ・生徒アンケートを行い、「授業で、目標(めあて)やまとめが示されていますか」と いう項目において、肯定的な回答する割合を、90%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【4、誰一人取り残さない学力の向上】 基礎学力の定着のため、授業を大切にすることを意識を持たせ、わかりやすい授業を推進し、国語、 数学、英語の授業においては、ティームティーチングや習熟度別少人数授業を実施し、基礎・ 基本の定着と、発展的内容の指導の充実を図る。</p> <p style="text-align: right;">（各教科）</p>	
<p>指標 ・年度末の生徒アンケートにおける「授業がよくわかる」項目に対して肯定的な回 答をする生徒の割合を前年度（87.3%）より向上させる。 ・年度末の生徒アンケートにおける「授業を熱心に受けている」項目に対して肯定 的な回答をする生徒の割合を前年度（85.0%）より向上させる。</p>	
<p>取組内容②【4と7、誰一人取り残さない学力の向上、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 授業研究に伴う校内研修の充実：全教員が年 1 回授業公開を行い、授業力の向上に 取り組む。校内研究授業週間を活用し、教員相互のスキルの向上を図る。</p> <p style="text-align: right;">（各教科）</p>	
<p>指標 ・校内アンケートで「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、 広げたりすることができていますか。」について肯定意見を前年度（84.6%）より向 上させる。</p>	
<p style="text-align: center;">年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p style="text-align: center;">次年度への改善点</p>	

大阪市立東陽中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において「学習者用端末等の ICT 機器を授業で活用しましたか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 75%以上にする。 ・学校閉庁日については、夏季休業期間においては 3 日、年間で 5 日以上設定する。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日については、月 1 回以上設定する。 ・東成区役所の電子書籍を活用した読書活動推進事業（電子書籍 e-library）を朝の読書及び長期休業中に活用する。令和 5 年度の校内調査において「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度(74.2%)より増加させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーションの推進）】</p> <p>ICT 機器等の整備を行い、学習者用端末等の ICT 機器を授業で活用し、生徒の情報活用能力を向上していく。(各教科)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>年度末の校内調査において「学習者用端末等の ICT 機器を授業で活用しましたか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 75%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>ゆとりの日を設定（定時退勤）や休業期間中の閉庁日を設定し、長時間勤務にならないよう教職員の働き方改革を推進する。(管理職)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ゆとりの日については、月 1 回以上設定する。学校閉庁日については、年間で 5 日以上設定する。</p>	
<p>取組内容③【8、生涯学習の支援】</p> <p>読書文化の継承と更なる推進（朝読書、ブックトラックの活用、図書紹介）を実施する。また、区役所と連携して電子書籍を活用した読書活動を取り入れる。(教務部)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>令和 4 年度の校内調査において「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度（74.2%）より増加させる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

--